

シンナガサキミーティング開催レポート

i n 稲佐小学校区



令和5年9月1日（金）、自治会や育成協、民生・児童委員、学童保育、老人クラブ、商店街など16人の皆さんにお集まりいただき、稲佐小学校区の「シンナガサキミーティング」を開催しました。

自己紹介では、原爆慰霊祭、もちつき大会や持久走大会など地域の特色ある活動や、地域で暮らしていく中で感じていることなどをお話いただきました。

いただいた意見

①稲佐小学校体育館（避難所）のクーラー設置について

稲佐小学校体育館は避難所になっているが、クーラーがついてない。教室にはクーラーがついているが避難所になっていないので利用できない。どうにかならないか。

市の考え方・回答

既に空調設備を設置している特別教室などを学校運営に支障をきたさない範囲で利用できるよう、学校と調整のうえ、対応を行うこととしています。

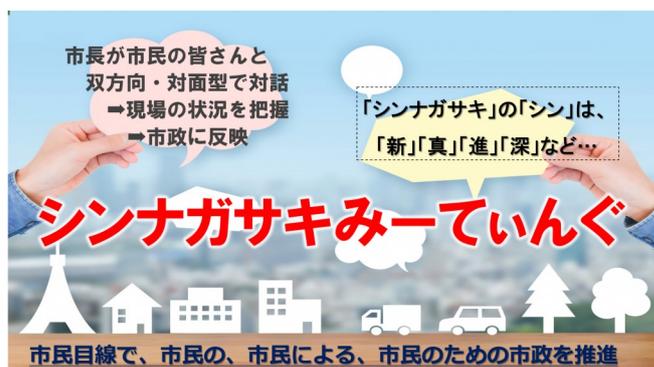
体育館を避難所として開設する場合は、既設の大型サーキュレーターや、さらに、大規模災害の発生時等は、資機材のレンタルを行う事業者との間で締結している災害協定に基づき、大型のスポットクーラーを調達し対応することとしています。

②春木町側の市道について

春木町側の市道は、救急車、消防車が通れない。そこで、淵中学校の法面改修工事の仮設道路を、救急車、消防車が通れるようにしてほしい。

回答・市の考え方

淵中学校の法面改修工事の資機材運搬等のために、現在、中学校横の階段道を仮設道路にしていますが、法面下隣接地において、民間による宅地開発計画の情報がりますので、その状況を踏まえながら、仮設道路部分の拡幅整備について検討を進めていきたいと考えています。



③稲佐公園のトイレについて

稲佐公園が昨年指定緊急避難場所に指定されたので、公衆トイレを設置していただけないか。

回答・市の考え方

稲佐公園は、主として街区内に居住する者の利用に供することを目的とする街区公園という位置付けのもと、トイレは設置しない計画で公園整備を行っており、大火災や地震時の災害時に、一時的に避難するための場所として令和4年に指定緊急避難場所として指定しています。

なお、指定緊急避難場所は、緊急かつ短期間（1時間程度）の避難を想定していることから、トイレが設置されていない公園についても指定しています。

新設トイレについては、多額の設置費用と継続的な維持管理費が必要となりますので、設置は困難な状況にあります。公園トイレについては、周辺の配置状況や公園利用状況等を踏まえながら、トイレの必要性については検討していきたいと考えています。

④バス道路の花壇について

バス道路にある花壇について、当初は（市が整備した後は）自治会で管理するという話だったが、今は高齢者ばかりで誰もできない。土系舗装で埋めるようお願いしたが、できれば市で管理して花を咲かせてほしい。

回答・市の考え方

この花壇については、以前は地元住民の方が花を植えるなど管理をしていただいていたものと聞いておりますが、近年はされる方がいなくなったようです。この花壇について、今年度に入り、除草や糞尿についての相談がございましたので、7月に自治会長様や住民の方と現地で行いました。

現在、自治会での維持管理は困難とのことから、花壇を撤去するか、将来的に使用可能にしておくため花壇内を土系舗装するかを自治会内で協議していただくこととなりました。その後、土系舗装を実施してほしいとの連絡が自治会長様よりありましたので、今年度中に実施予定としています。

そのほか、「稲佐地区には観光資源もあるので、少し手入れると地域活性化に繋がるのではないか」、「色んなことをまずやるのが大事。やっていく中で、一人一人の繋がりができてくると感じている」などのご意見をいただきました。

いただいたご意見は、担当部局と共有し、今後の市政運営に活かしていきます。

鈴木市長のひと言

地域コミュニティを維持していくためには、昔と同じやり方ではなかなかうまくいかない部分が多くあると改めて思いました。

今後、どのように工夫していけばいいのか、引き続き皆さんと一緒に考えていきたいと思えます。



参加者からの感想

自治会内の挨拶、声かけなど、地道に親しくなることから始たい。

色々な意見が聞けて良かった。市長と直接話し合えて満足しました。

市長の考え方、人柄が見えました。

色んな要望、問題点をしっかり聞いてくれて、市長の姿勢が良かった。

